

切手大量購入14人が説明文

政活費 市川市議会議長ら見解

市川市議が政務活動費（政務調査費）で切手を大量に購入していた問題で、

同市議会は27日、購入した14人（現職11人、前職3人）から切手の使途に関する説明文書が提出されたと発表した。中山幸紀議長、

勝亦竜大副議長が会見で文書を示し、見解を述べた。

両氏は、会派「社民・市民ネット」「緑風会第1」に所属していた議員のうち購入への関与を否定していた4人について説明通りと

認定。「みらい」にいた6人が「切手は会派の市政報告のほか個人市の議会報告の郵送に使った」などと回答した文書に対しては「郵送などに使ったと思われる。自主返納もしてい

る」として説明がついたとの見方を示した。

一方、百条委の調査対象になっている小泉文人議員と前職の鈴木啓一氏、小泉氏と同じ会派にいた青山博一議員の文書については「何も説明していない」とした。アンケート実施に切手を使ったと説明してきた

松永鉄兵議員についても「アンケートの返信はがきや送付リストを処分したなど」と疑問が残る」とした。説明文書は、6月議会で

百条委設置を決めた際、切手購入について各議員に速やかな説明を求める決議が可決されたことを受け、提出された。次回百条委は8月に開かれる予定。議会事務局によると、政活費は市

の外部監査で指摘のあった925万円が自主返金されている。